



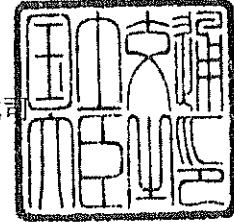
認 定 書

国住指第 3565 号
平成 21 年 12 月 18 日

積水化学工業株式会社
代表取締役社長 根岸修史 様

国土交通大臣

前原 誠司



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号のハ〔防火区画貫通部 1 時間遮炎性能〕の規定に適合するものであることを認める。

記

4. 認定番号

PS060WL-0470

5. 認定をした構造方法等の名称

給水管・排水管・ケーブル／黒鉛含有ブチルゴムシート裏張アルミニウムはく積層紙・シリコーン系樹脂シール材充てん／壁耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）

6. 認定をした構造方法等の内容

別添のとおり

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

給水管・排水管・ケーブル／黒鉛含有ブチルゴムシート裏張アルミニウムはく積層紙・シリコーン系樹脂シール材充てん／壁耐火構造／貫通部分(中空壁を除く)

2. 申請仕様の寸法：

申請仕様の寸法を表1に示す。

表1 申請仕様の寸法

項 目		申 請 仕 様
開 口 部	形状	円形 (φ52mm以下)
	面積	0.0022m ² 以下
管と壁との隙間の寸法 (クリアランス)		1～5mm
占 積 率 (開口面積に対する管の断面積総合計の割合)		91.2%以下
貫通する壁の構造等		片面強化せっこうボード重張／軽量鉄骨下地間仕切壁 (国土交通大臣認定 耐火構造：FP060NP-0007、 FP060NP-0046、FP060NP-0049) 厚さ：42mm以上

3. 申請仕様の構成材料：

申請仕様の構成材料を表2及び管の構成材料を表3に示す。

表2 申請仕様の構成材料

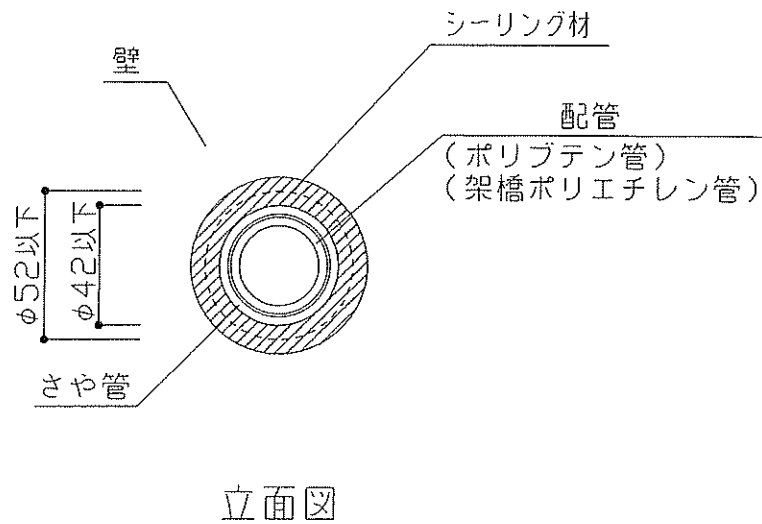
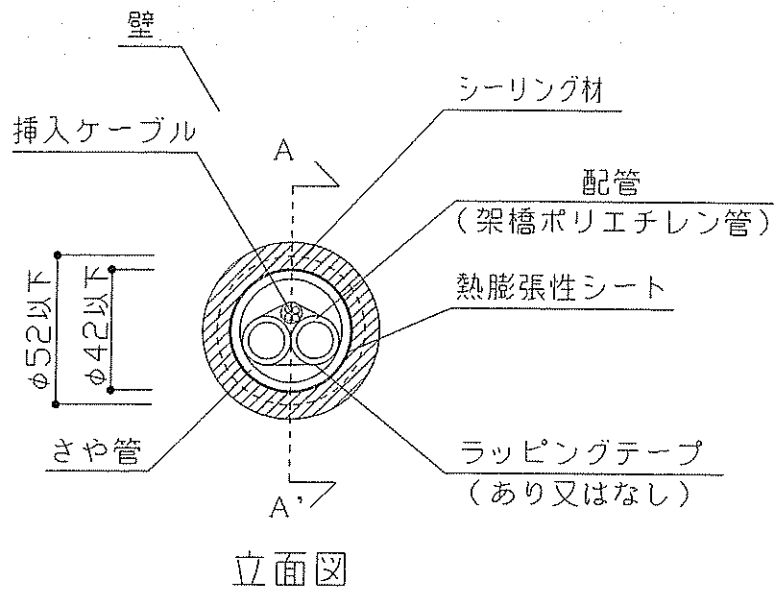
項 目	申 請 仕 様		
熱膨張性シート	材料	黒鉛含有ブチルゴムシート裏張アルミニウムはく積層紙	
	寸法	総厚さ：0.66mm以上 幅：60mm以上 (貫通部内に42mm以上埋設)	
	基材	材料	アルミニウムはく積層紙
		厚さ	0.16mm
	シート	材料	黒鉛含有ブチルゴム
		厚さ	0.5mm以上
組成 (質量%)			
充てん材	材料	シリコーン系樹脂 (建築用シーリング材：JIS A 5758)	
	使用量	管と壁との隙間 (1～5mm) に充てん材を片側あたり、所定量 (40g/m 以上) を密に充てんする	
	使用箇所	開口部と管との隙間	

表3 申請仕様の管・ケーブルの構成材料

項目	申請仕様				
			材料	ポリエチレン系樹脂管	
給水管 ・ 排水管 (以下、 配管と いう。)	さや管	材料		ポリエチレン系樹脂管	
		外径		φ42.0mm以下	
		内径		φ36.0mm以下	
	挿入管	I	材料		架橋ポリエチレン管 (JIS K 6769、JIS K 6787)
			外径		φ17mm以下×2本以下 (ダブル管で使用の場合) ※ダブル管で使用の場合、必要に応じてラッピングテープ (アルミニウムはく/PETフィルム) を巻き付ける
			厚さ		2.1mm以下
		II	材料		架橋ポリエチレン管 (JIS K 6769、JIS K 6787)
			外径		φ27.0mm以下
			厚さ		3.25mm以下
		III	材料		ポリブテン管 (JIS K 6778、JIS K 6792)
			外径		φ34mm以下
			厚さ		2.95mm以下
	架橋ポリエチレン管	材料		架橋ポリエチレン管 (JIS K 6769、JIS K 6787)	
		外径		φ27.0mm以下	
		厚さ		3.25mm以下	
		材料		ポリブテン管 (JIS K 6778、JIS K 6792)	
		外径		φ42.0mm以下	
		厚さ		3.55mm以下	
	被覆材付架橋ポリエチレン管	被覆材	材料		オレフィン系熱可塑性エラストマー
			厚さ		2.0mm以下
内管		材料		架橋ポリエチレン管 (JIS K 6769、JIS K 6787)	
		外径		φ27.0mm以下	
		厚さ		3.25mm以下	
		断面積		0.75mm ² 以下 (1本あたり)	
挿入ケーブル	導体 (又は芯線)		種類	銅、ガラス繊維、その他これらに類する不燃性の材質	
	絶縁体		材料	塩化ビニル系	
			厚さ	0.6mm以下	
	シース		材料	塩化ビニル系	
		厚さ	1.0mm以下		

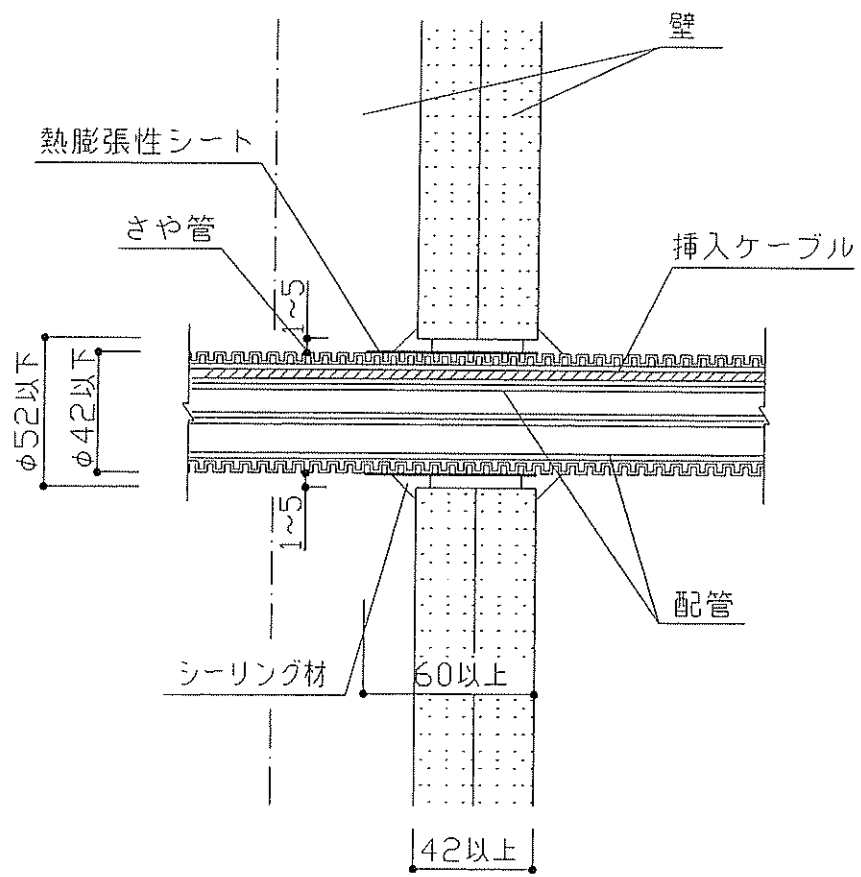
4. 申請仕様の構造説明図：

申請仕様の構造説明図を図1～図4に示す。



※さや管を用いた仕様の場合

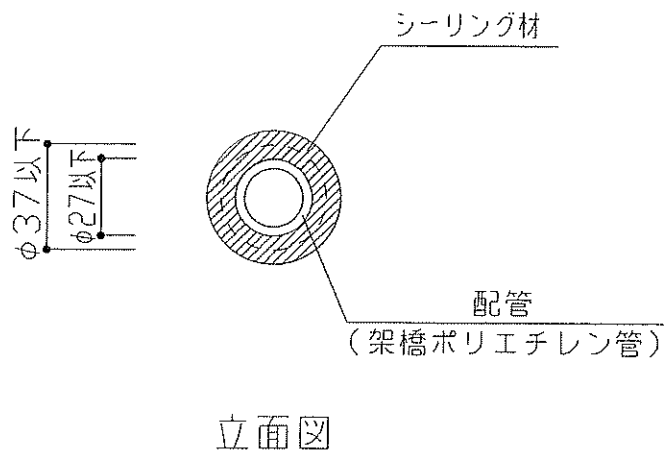
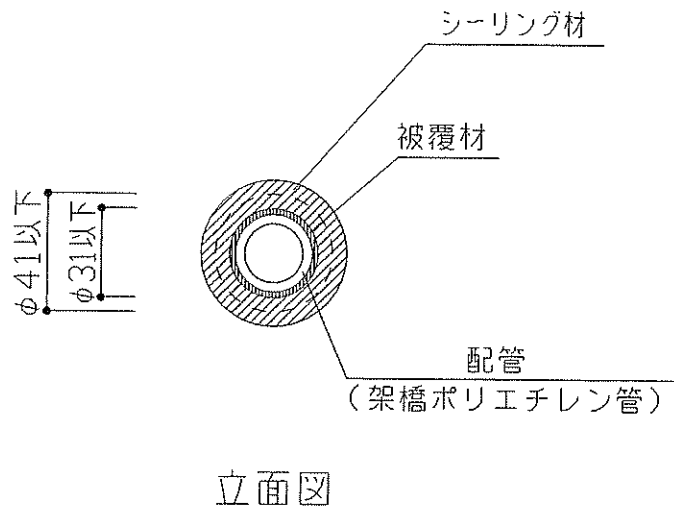
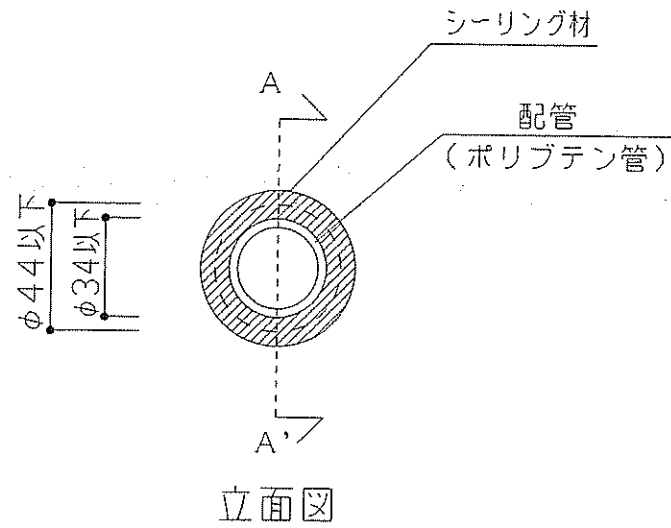
図 1 構造説明図



A - A' 断面図

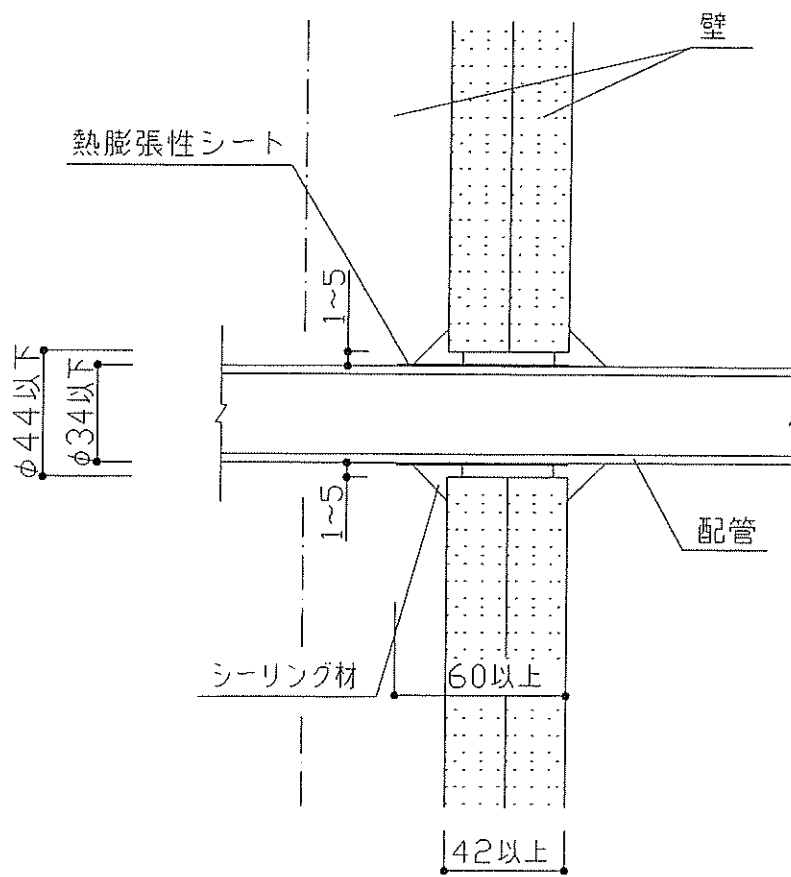
※さや管を用いた仕様の場合

図2 構造説明図



※単管を用いた仕様の場合

図3 構造説明図



A - A' 断面図

※単管を用いた仕様の場合

図4 構造説明図

5. 施工方法：

施工図を図5及び図6に示す。

施工は以下の手順で行う。

(1) 開口部の確認

開口部の開口面積、給・排水管寸法（給・排水管の径及び種類等）、占積率、壁の仕様、壁の厚等が申請仕様に適していることを確認し、開口部の周囲を清掃する。

(2) 配管に熱膨張性シート巻付位置の墨出し

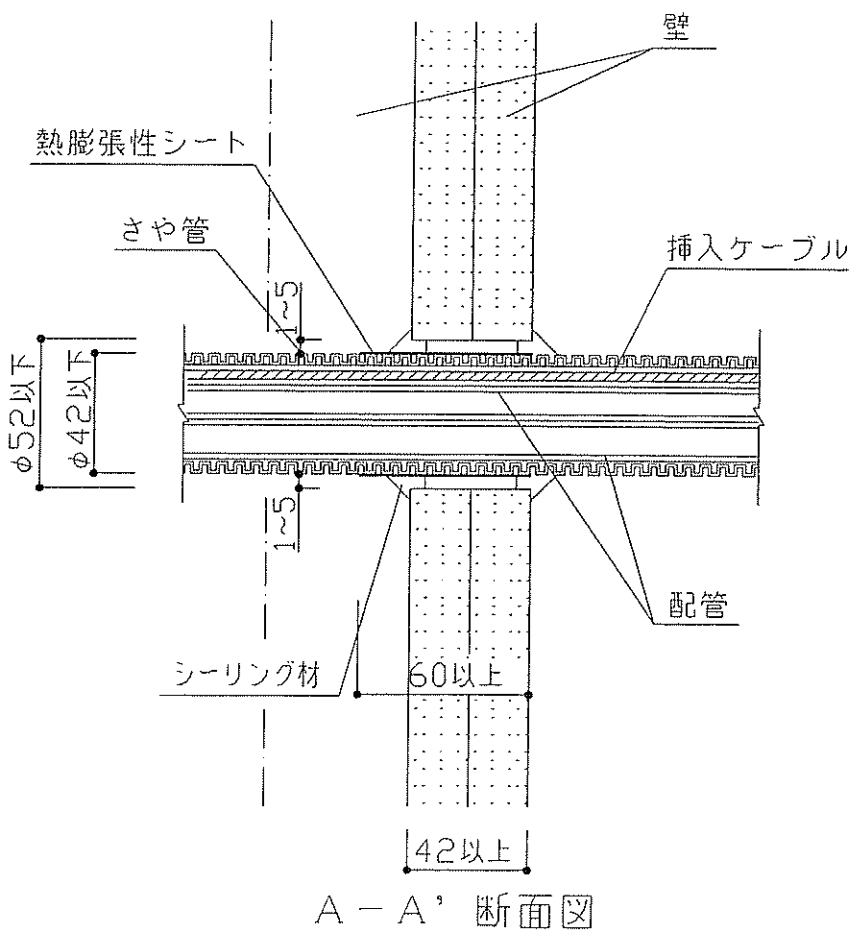
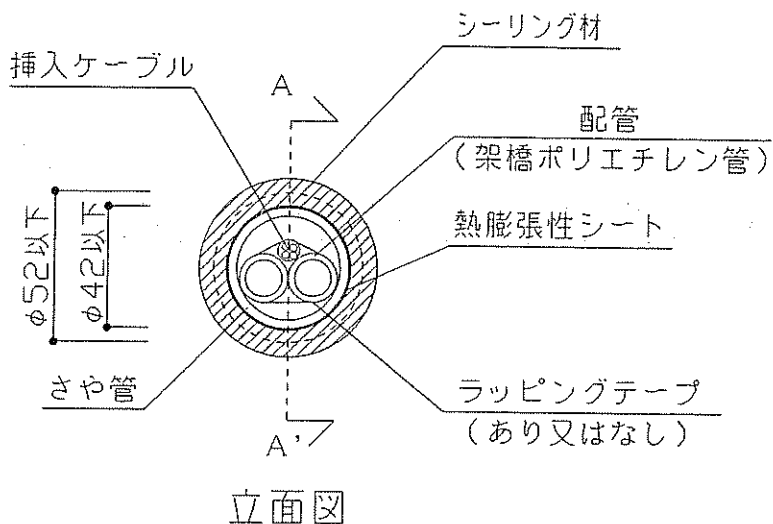
墨出しの位置は、熱膨張性シートが壁の中に全て入るような位置とする。

(3) 熱膨張性シートの巻付け

墨出しした位置に、熱膨張性シートを巻付ける。この時、巻付けの初端と終端は隙間なく必ず接するように巻付けるか又はオーバーラップさせる。

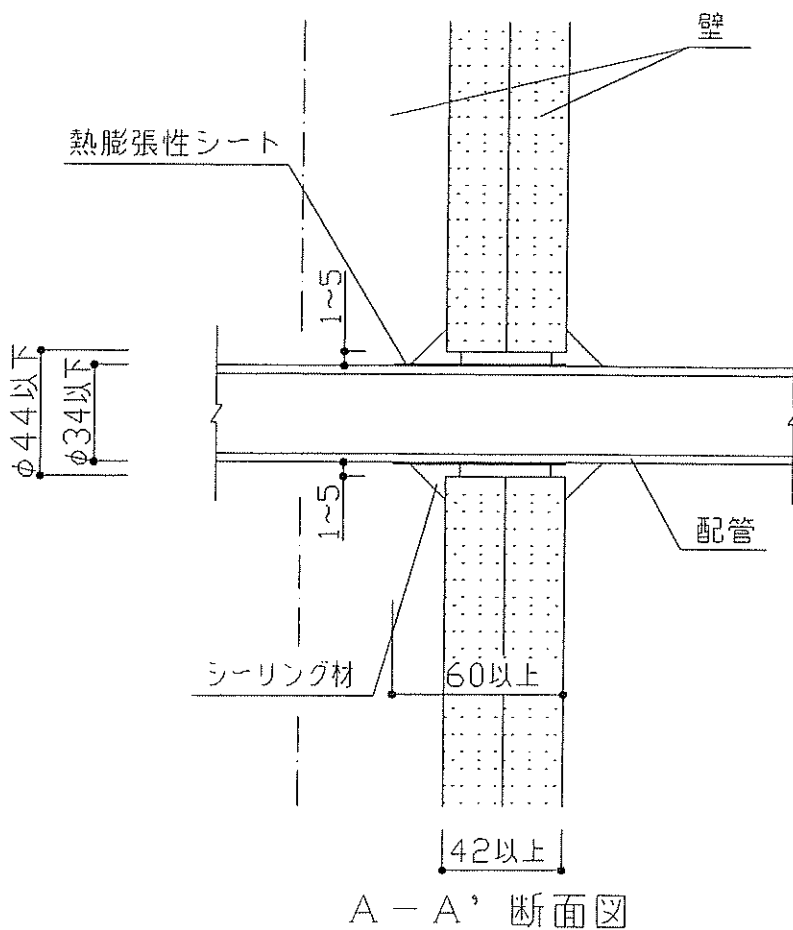
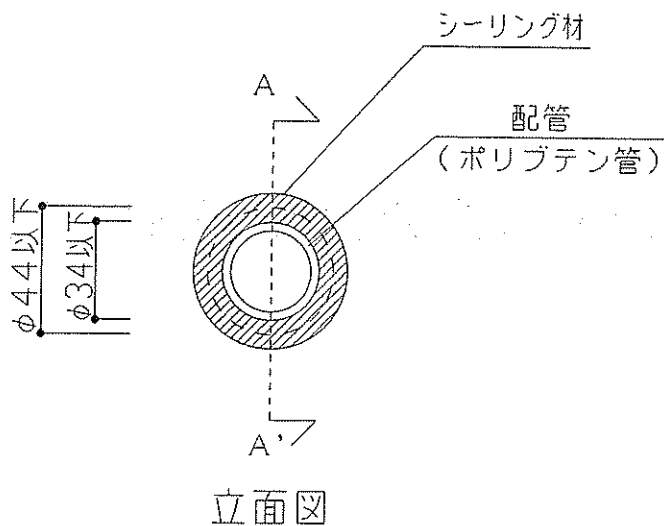
(4) シーリング材の充てん

配管をスライドさせ、所定の位置に設置し、壁両側の隙間をシーリング材で充てんする。



※さや管を用いた仕様の場合

図5 施工図



※単管を用いた仕様の場合

図6 施工図